

第57号 オリガミアンだより

2021年10月12日発行

学園祭後の展示に初参加

プレゼント用折り紙コーナーも設置

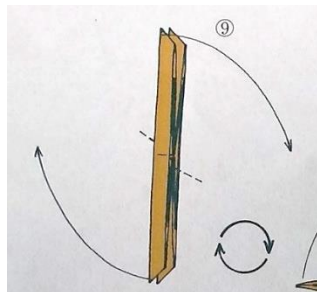


学園祭終了後の「わ」の展示に「オリガミアン」として初めて参加しました。コロナが猛威を振るう中で、当たり前にかかれていたイベントが次々に中止になる、という悲哀をこの1年間、イヤというほど味わわれてきました。こうしたイベントに参加出来ることのありがたさをしみじみと感じています。

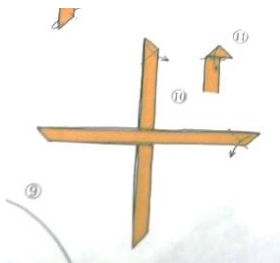
オリガミアンの大きな特色は単に折るだけでなく、折った作品を周りの人にもらってもらい、喜びを共有、ほっこりした気分になってもらうことですが、この趣旨に沿ってプレゼント用折り紙コーナーも設置しました。ここには23種212個の折り紙が飾られ、会場の雰囲気や一段と盛り上げていました。教室で習った「マジック・ローズ・キューブ」「金の鶏」「縦の木とトナカイ」を初め「キツネ」「タヌキ」「ウサギ」など可愛い動物たちもプレゼント用に用意、ボード前に訪れた人たちから喜ばれました。

「二つの輪」をがっしり仕上げるコツ

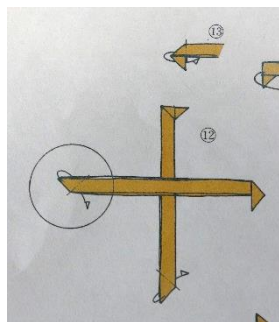
「オリガミアン」第56号のつづきです



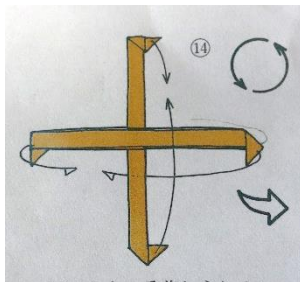
上の部分を90度ずらす



以後、軸の向きが重要。決して向きを変えないこと。上端は手前にカールさせると⑪になる。



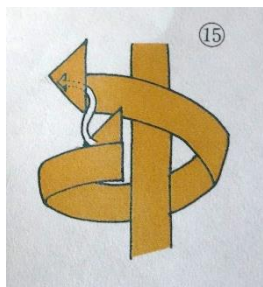
右端は手前に、左端は後ろにそれぞれカールさせる。特に左端の折り図をしっかりと読み取ることがポイント。左端は⑬のようになる



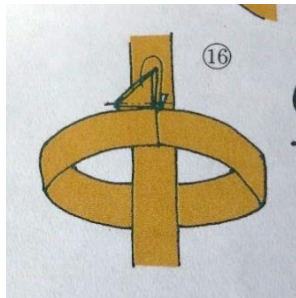
図のように縦の棒は手前にカール、横の棒は後ろにカールさせて二つの輪を作る



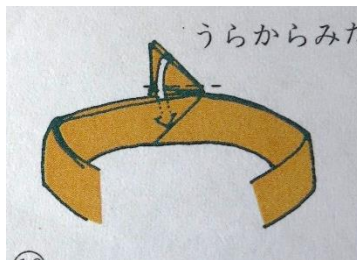
ここで紹介する折り図は日本折紙協会発行の「おりがみ」誌第161号から引用。1989年（平成元年）の発行ですから随分年季ものですが、「二つの輪」の接合に関しては優れたもので少しも色褪せていません。



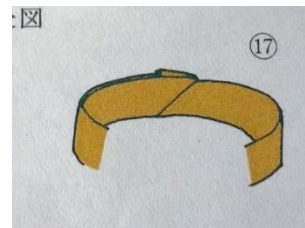
三角形の向きが同じことを確認し、はめ込む



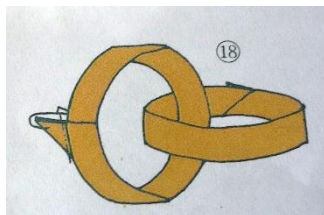
輪から突き出した2枚の三角形部分を一緒につまみ、後ろのポケットに差し込み、しっかり固める



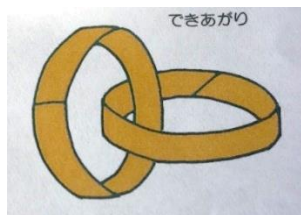
2枚の三角形部分を固めるところを後ろから見たところ



しっかり固めるとこういう形になる



もう一つの輪も同様に組んでしっかり形を整える



出来上がり。さあ、披露宴に持ち込んで、みんなをびっくりさせよう



榎本さんの工夫

上の写真はなかなかの優れものです。良く見ると右側の作品はオール金色で、もう一つはオール銀色。左側の作品は金と銀のツートンカラー。ふつうに折っていたのでは絶対にはなりません。作り方を知りたい方は教室で質問してください。

折り紙関係書籍が充実している兵庫図書館

久しぶりに兵庫図書館（JR兵庫駅の南）を訪れました。もちろん折り紙関係の書籍をチェックするためです。中央図書館や三宮図書館には何回か行って大雑把な在庫はつかんでおり“新天地開拓”が目的です。

意外にも折り紙関係書籍が充実しているのにびっくり。ざっと30冊近くはあるでしょうか。周囲に住宅地が多いので自然とこうなったのかも知れません。

さっそく借りた本は『おもしろ動物折り紙』 木村良寿著 日貿出版社 ▼『大人の箸袋おりがみ』 しがり朗（ろう）著 主婦の友社 ▼『きれい、すてき。四季の折り紙』 小林一夫監修 廣済堂出版の3冊＝写真。「くびふりねこ」「でぶねこ」「ハート箸置き」「カップル箸置き」など結構おもしろいものも。興味のある方は直接、手に取ってご覧ください。



10月19日の定期練習

予定通り行います

ハート、金の鶏復習など